

Reverse Peel（リバースピール）治療同意書

- ① Reverse Peel は皮膚の真皮層より表層に向けての3段階（3ステップ）の施術により肝斑や色素沈着の改善をはかるピーリング剤です。
- ② ステップ1：TCA（トリクロロ酢酸）、低濃度過酸化水素、コウジ酸配合製剤による真皮層への作用
ステップ2：乳酸、フィチン酸配合製剤による表皮中層～深層への作用
ステップ3：サリチル酸、グリコール酸、マンデル酸、コウジ酸、フィチン酸配合製剤による表皮浅層～中層への作用 ——により優れた治療効果を得ることができます。
- ③ 製剤は治療部位（肝斑や色素沈着が見られる部位）に塗布します。（ステップ1は治療部位以外にも使用可能です。）各ステップの施術時に灼熱痛や赤みが出ることがありますが、鎮静化します。（ステップ2、ステップ3では中和剤を使用することで改善します。）
- ④ 中和剤使用後も痛みや発赤が継続する場合はステロイドなどの抗炎症剤を塗布します。
- ⑤ 施術後、院内でReverse Serum（美容液）および日焼け止めクリーム（SPF50以上）を塗布します。ご自宅ではReverse Serumを朝晩1日2回塗布してください。
- ⑥ Reverse Serumは再発防止のために、治療終了後もホームケア用として1日1回塗布し、日焼け止め（SPF50以上）を併用してください。
- ⑦ かさぶたができた場合は落屑するまで剥がさないでください。無理に剥がすと色素沈着や瘢痕の原因となることがあります。
- ⑧ 刺激に弱い目の周り（特に目尻）、小鼻、法令線付近、口周り（特に口角）、傷のある部位は肌の状態により治療を避ける場合があります。
- ⑨ 配合成分に対する過敏症、アルコール過敏症、妊娠、授乳中、重度の敏感肌、強い炎症（アトピーやかぶれなど）、脂漏性皮膚炎の部位、ヘルペス治療中、日光過敏症の方は安全性の観点より治療が受けられません。
- ⑩ トレチノインや過酸化ベンゾイルを使用されている方は治療前後2週間の使用を控えてください。
- ⑪ 2週間おきに5回の治療が1クールを目安ですが、満足が得られる結果がでるまで継続されることをお勧めします。
- ⑫ お肌に異常がなければ、治療当日より洗顔やメイクが可能ですが、こすらないようにしてください。治療後は乾燥を伴うため、効果を高めるためにも保湿は入念に行ってください。また、必要に応じて抗炎症剤を塗布してください。

* 以上は一般的な留意事項であり、症状等には個人差が生じる旨、ご理解いただきますようお願い致します。

上記の内容に関して十分な説明を受け理解致しました。また、不明な点に関しては質問をする機会がありました。よって、Reverse Peel 治療を受けることに同意致します。

年 月 日

氏名

印